



**オイシックス株式会社**

〒141-0022

東京都品川区東五反田 1-13-12

COI 五反田ビル 10F

2009年5月28日

## 1/100のコンパクトサイズ・CO2排出量は従来の1/5 環境に優しい梱包資材「エアバッグ」を導入

オイシックス株式会社(東京都品川区、代表・高島宏平)は、2009年5月27日(水)より、お客様へ宅配便でお届けする商品の新梱包資材として「エアバッグ」を本格的に導入しました。これに伴い、商品のすき間を埋めるため多用していた新聞紙を廃しました。

この「エアバッグ」は、空気を抜けば容積比 1/100 以下と、非常にコンパクトなサイズになります。

また、同体積の新聞紙を用いた従来の緩衝材と比較し、焼却時の二酸化炭素の排出量は約 1/5 ( )、塩素を含まないため焼却時にダイオキシンが発生しないなど、環境にも優しい梱包資材となっています。

同社では、今後も高い品質でお届けするための梱包の工夫をしつつ、無駄なゴミの削減など、環境に配慮した配送の改善を続けてまいります。

	<従来の新聞紙を用いた緩衝材>	<新梱包資材の「エアバッグ」>
処分時の手間	・かさばるため、処分時に手間になった	・空気を抜けば容積比 1/100 以下と、コンパクトに処分が可能
焼却時の二酸化炭素排出量減	・同体積の新梱包資材と比べて、約 5 倍の二酸化炭素を排出	・同体積の緩衝用の新聞紙と比べて約 1/5

( )二酸化炭素排出量について

- ・エアバッグ1本が約3gです。
- ・同体積の緩衝材を新聞紙で作ると 約30g です。…エアバッグの10倍ほどの重量
- ・紙(セルロース)とエアバッグ(ポリエチレン)を燃焼させた際に発生する二酸化炭素の量は、単位重量あたりではポリエチレンの方が紙に比べて2倍程度の二酸化炭素を排出します。

よって、エアバッグの二酸化炭素排出量は同体積の新聞紙を用いた緩衝材比べて約 1/5 となります。

エアバッグ



### オイシックス株式会社について

オイシックス株式会社(代表・高島宏平)は、「子どもに安心して食べさせられる食材」をコンセプトに、有機・特別栽培野菜、無添加加工食品など多様な食材と豊かで楽しい食生活に役立つ情報をオンラインサイト「Oisix(おいしくす)」(<http://www.oisix.com/>)およびオフライン(牛乳宅配店など)経由で提供する事業を2000年6月より行なっています。また、2004年9月よりこだわりスイーツ専門販売オンラインサイト「Okasix(おかしくす)」(<http://www.okasix.com/>)を運営しています。

### オイシックスへのお問合せ

オイシックス株式会社 大熊 拓夢(オオクマ タクム)  
TEL:03-5793-1207 FAX:03-5447-2689 E-mail: [okuma@oisix.co.jp](mailto:okuma@oisix.co.jp)